



危機的状況に地球規模の視座を

G8
宗教指導者
サミット

地球環境が危機的状況を迎えており、世界の政治指導者と連携を図ろうとして、諸宗教指導者が一堂に集結する「G8宗教指導者サミット」が6月27～29日に大阪と京都で行われた。サミットは日本ノン・ドネイションの日本代表の開催となり、これは三宅善信会長（金光教泉尾教会会長）が昨年参加した際のノン・ドネイションで「パート」を手渡され、帰國後すぐ「国内の諸宗教指導者が呼びかけたもの」の大会では、神教の歐米中心の世界を遠く離れ、長い神智福音の歴史を持つ日本から、地球規模の渾沌を広げた普遍的価値を発信した。世界が抱える諸問題に国益を超えて地球と共生するべく、他者への幸福を求めて、慈しむ「こころ」を取り戻す。具体的な政治策を規定するだけでは解決できない現代社会の会の矛盾を宗教者自身の問題と受け止め、実践に向けての摸索が今始まった。

北海道の洞爺湖で開催された主要国首脳会議（G8サミット）に於けて、日本政府は「G8宗教指導者サミット」（名誉会長＝松谷慶富高野山真言宗管長、出席者は天王寺管長・出口順徳和宗総長）が6月29日にかけて大阪で開催された。

〔地球と生き残り〕
者からの提言
に、世界の宗教
地球温暖化や民
格差社会、食糧問
政治経済の問題を
超えた「地球的」
して捉えた。こ
模の問題に、宗
人類の叡智を通
がなされた。

一神教文明を背景とす
る歐米先進国が行き詰ま
りを見せる時代に、神仏
習合の歴史を持つ日本で
決して無理はない。3つのサブテーマに「そ
うした

取り入れた新たな産業経済社会を構築することは、「宗教者自身のはぜひとも必要である」と提言。また「ミャンマー、チベット等の国名を具体的・協同的援助となるよう」に挙げ、強者が弱者をう「この道」の開拓を促す現状を看過する抑圧する現状を採択。いずれの問題にも宗教者が経済至上主義に警鐘を鳴らし、宗教が持つ普遍的価値を提示した。

國當番が「地球感謝の
鶴」を鳴らし、世界の安
寧を祈願した。

今回のGoe宗教指導者
サミットは、諸宗教対話
のあり方に一石を投じ
て、徒議會が参加を表明。

協力を要請し、国際宗教
同志会やIARF日本連
絡協議会、世界連邦宗教

提言文要

世界のさまざまな宗教の指導者であるが、G8首脳会議を前に、主義と消費主義に毒され、大阪と京都に集つた。環境の悪化に対する懸念と使命について宣言する。われわれは、世界を取り巻く繁栄と貧困という両方の問題を抱えている。持続可能なライフスタイルに自分たちを適合させ、より平等になるために富を分かち合い、災人災の気持つを行なう。このためには、不正義を正すために、われわれは努力を傾け、性：ひとつの使命である。

1 自然と生きる
われわれは、省資源に取
は、民族文化や宗教とい
て、宗教者はその解決の場
る。

2 民族的・宗教的多様
性：ひとつの使命

3 アフリカ・貧困の精算
結論

この提言書は、上述した
共同体の発展において、教
育の必要性が極めて重要で
あることを反映している。
アフリカでは、新植民地
主義という病んだ状況が続
いていることである。

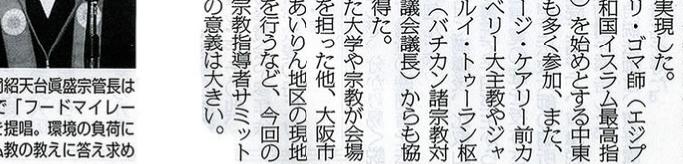
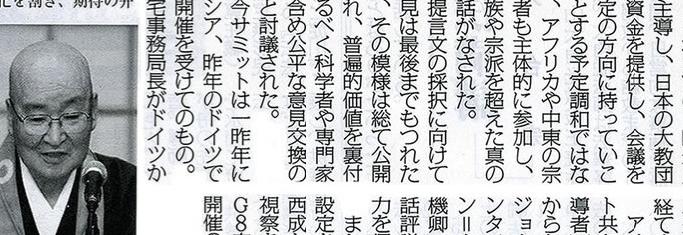
1、2、3の三つの分野に
おいて、各國政府がわれわ
れの提言に對して、どれた
くもモニターリングを行
なう。また、われわれ宗教指導
者は、各國政府がわれわれ
の提言に對して、どれた
くもモニターリングを行
なう。

アフリカとG8諸国間で、真摯に取り組んだかとい
うことを自ら評価した。次に、G8宗教指導者サミット
では、他者を責めるという形で、自分自身の「身の罪」であるといふ主
体的な痛みを感じることを提言する。その旨をランクシート（達成状況評
価表）を作成して、その実現に貢献するため、この度のG8首脳会議に於
けるこのことについてディスカッションすることを求める。

次回のこの会議までのわ
ずか一年の間に、われわれ

あいりん地区で日本における貧困の現状を目の当たりに

解決にこころのあり方問う



総理官邸に「提言文」を提出



分科会に神仏の叡智が息づく

